

第46巻 第2号 予告

特集「腸管出血性大腸菌 O157集団感染とその対策」

1. 流行の実体と細菌学的対応……………渡邊治雄
2. 腸管出血性大腸菌 O157の検査法の確立 ……山井志郎, 大澤朗
3. 臨床症状と治療……………城宏透輔
4. 厚生省の対応……………南 俊作
5. 腸管出血性大腸菌 O157集団感染とその対策 ……加地祥文
6. 保健所の対応……………尾崎米厚
7. 岡山県邑久町における集団感染への対応と課題……………發坂耕治
8. 岩手県盛岡市における対応と課題……………品川邦汎, 佐藤成大
9. 北海道帯広市で集団発生した腸管出血性大腸菌 O157感染症について……………米川雅一

編集後記

「公衆衛生研究」は1997年の第46巻第1号より、(財)公衆衛生振興会が購読希望者への有償頒布を始めました。それに伴い、課題となっている「定期刊行」も本号より遅れを取り戻すべく取り組みました。しかし、新しくA4版に改版したこともあって、現実には厳しく少々発行が遅れました。予約をされた購読者の方々には深くお詫びを申し上げます。

本号の特集は「8020のStrategy」です。人間の食生活における基本条件である「歯科保健」の戦略的展望がテーマです。見通しを持った事業は、それに関わる人々に希望を与えるものです。「公衆衛生研究」も出版事業としてStrategyを持ちたいものです。読者の方々のご支持とご支援を心より希望いたします。

磯野 威 (附属図書館)